

円相場の足取り その424

りそな銀行 総合資金部 市場トレーディング室

13年 1月	AM9:00	円 最高値	円 最安値	PM5:00	当社 ドル 仲値	仲値の 前日比	当社 ユーロ 仲値	主要事項
4日	87.71 - 73	87.24	88.12	88.08 - 10	87.66	1.08	114.13	米 財政の崖」問題をめぐる懸念が後退したことで、ドルは上昇した。
7日	88.21 - 22	87.69	88.37	87.76 - 77	88.09	0.43	114.96	情報通信大手の米企業買収について差止め要請が出されるとの報道で、ドルは下落した。
8日	87.26 - 28	87.23	87.82	87.37 - 38	87.55	-0.54	114.87	麻生財務相のESM債購入継続との発言を受けたユーロ円の上昇につれ、ドルは上昇した。
9日	86.90 - 91	86.83	87.55	87.48 - 49	87.17	-0.38	113.93	アジア株式市場が堅調に推移し、リスクオンの動きが優勢となり、ドルは堅調に推移した。
10日	88.13 - 14	87.86	88.31	88.28 - 29	88.20	1.03	115.15	良好な中国12月貿易収支を背景に豪ドル円が上昇したことで、ドルは底堅く推移した。
11日	89.33 - 34	88.68	89.35	89.03 - 05	89.22	1.02	118.39	利益確定のドル売りが優勢となったことで、ドルは軟調に推移した。
15日	89.44 - 45	88.62	89.63	88.82 - 83	89.59	0.37	119.92	甘利経済相が過度な円安は国民生活にマイナスの影響もあると発言し、ドルは下落した。
16日	88.76 - 77	87.95	88.88	88.10 - 12	88.53	-1.06	117.79	ポジション調整と見られる動きから円買戻しの動きが優勢となり、ドルは軟調に推移した。
17日	88.66 - 67	88.14	88.80	88.60 - 61	88.66	0.13	117.96	アジア株式市場の軟調な推移を背景としたクロス円の下落に連れ、ドルは連れ安となった。
18日	89.83 - 84	89.64	90.21	90.02 - 04	89.96	1.30	120.37	政府要人の「95円～100円への円安は懸念する必要ない」との発言で、ドルは上昇した。
21日	90.17 - 18	89.42	90.25	89.59 - 60	89.85	-0.11	119.59	日経平均株価の下落を背景に、ドルは軟調に推移した。
22日	89.62 - 64	88.90	90.18	89.09 - 10	89.77	-0.08	119.44	日銀による追加緩和後に利益確定のドル売りの動きが強まり、ドルは下落した。
23日	88.52 - 53	88.06	88.79	88.28 - 30	88.72	-1.05	118.18	ポジション調整とみられる動きから円買戻しが優勢となり、ドルは軟調に推移した。
24日	88.57 - 58	88.42	89.46	89.27 - 28	88.61	-0.11	117.85	西村内閣府副大臣が対ドルで100円は問題ないとの見解を示したことで、ドルは上昇した。
25日	90.54 - 55	90.29	90.69	90.54 - 56	90.56	1.95	121.08	クロス円が堅調に推移したことで、ドルは底堅く推移した。
28日	91.18 - 19	90.65	91.26	90.70 - 71	91.05	0.49	122.60	ポジション調整の動きから、利益確定のドル売りが優勢となり、ドルは下落した。
29日	90.45 - 46	90.40	91.02	90.65 - 66	90.49	-0.56	121.71	日経平均株価が上昇に転じたことで、ドルは上昇した。
30日	90.78 - 79	90.67	91.07	91.04 - 06	90.83	0.34	122.48	独債利回りの上昇を背景にユーロ円が上昇し、ドル円も連れ高となった。
31日	91.01 - 03	90.75	91.16	90.91 - 92	91.14	0.31	123.63	アジア株式市場の軟調な推移を受けて、ドルは下落した。

ドル円

月中円最高値

86.83 (9日)

月中円最安値

91.26 (28日)

ドル仲値月中平均

89.24

ユーロ仲値月中平均

118.63

*円最高値、円最安値は日銀公表値に準じております。

*当社仲値以外の当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とに関わらず、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。